

《 競 技 注 意 事 項 》

1. 本大会は、2021年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・監督会議申し合わせ事項により実施する。日本陸上競技連盟が示す「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に基づき実施する。
2. 練習及びウォーミングアップは、補助競技場で行うこと。室内走路の使用は禁止とする。
 - ①フィールド内(芝生部分)でのジョギングやドリル等は禁止とする。
 - ②第4コーナーでの流しやバトン練習は禁止とする。1、2レーンは周回レーンとする。
 - ③投てき競技の練習は、「競技場の使用について」の項を参照すること。ハンマー投の練習は大会期間中は禁止とする。
3. 招集について
 - ①競技開始時刻の**40分前**までに**競技場内記録室前の簡易招集所**で自分のナンバーに○をつける。
 - ②トラック競技はスタート地点、4×100mRは各スタート場所に**競技開始10分前**、フィールド競技は現地に**競技開始30分前**までに集合する。この時刻が招集完了時刻になる。
 - ③混成競技において、第1日、第2日ともに第1種目は簡易招集所で○をつける。それ以降の種目については、トラック種目は10分前、フィールド種目は20分前に現地に集合し係の点呼を受ける。
 - ④**各種目において規格外シューズ、スパイクの使用は認めない。競技開始40分前**までに簡易招集所で使用するシューズ、スパイクの確認を必ず受けること。チェックを受けたシューズ、スパイクのみ使用することとする。リレー種目はスパイクの確認を現地を必ず受けること。
4. リレーオーダー用紙は、最初の組の招集完了時刻の1時間前までに簡易招集所に提出すること。
5. 番組編成について(走路順・試技順)
 - ①予選におけるトラック競技者の走路順、跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
 - ②トラック競技の決勝に進む+αの決定について
 - (1)全競技、写真判定の記録順による。
 - (2)800mまでの競走とリレー競技において同タイムの場合は、写真判定の拡大写真(0.001秒)による。それでも同着の場合は抽選とする。
 - (3)1500mの競走においては、同記録の競技者はすべて次のラウンドに進める。
6. バーの上げ方について
 - ①走高跳・棒高跳の練習の高さ及びバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
走高跳(男子)	1m50・1m65	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	+3cm
走高跳(女子)	1m10・1m40	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	+3cm
棒高跳(男女)	選手・天候の状況により、決定する。								

 - ②第1位が同成績の場合は順位決定を行う。また、県大会出場決定試技も行う。そのためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
7. 県大会出場について
 - ①県大会の出場枠については、福島陸協のホームページ記載のとおりとする。
8. 一般注意事項

短距離走では、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)に沿って走り、他の選手の走路を妨害しないようにすること。
9. 競技欠場と多種目同時出場の取り扱いについて(用紙は招集所に準備)
 - ①トラック競技は競技開始40分前までに「欠場届」または、「多種目同時出場届」を簡易招集所に提出する。
 - ②フィールド競技は競技開始1時間前までに「欠場届」または、「多種目同時出場届」を簡易招集所に提出する。
 - ③リレー競技はリレーオーダー用紙提出時間までに欠場届を簡易招集所に提出する。
10. その他
 - ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団応援を含む応援はすべて禁止とする。
 - ②該当種目に出場する選手以外は競技場に入らなこと。
 - ③更衣室の使用については、入室する人数を制限し、滞在は短時間にすること。
 - ④室内走路は使用禁止とする。

参加者数一覧

参加区分	男	女	計
中学校	122	100	222
高校	349	199	548
一般	25	1	26
合計	496	300	796